



2020年度第2四半期 決算説明資料

2020年10月30日

I. 2020年度第2四半期決算実績

- 決算実績サマリー 4
- 連結経営成績サマリー 5
- 定常収益 6
- セグメント別内訳 7
- 連結財政状態 8
- 主要財務指標／キャッシュ・フロー 9
- セグメント情報 10-12
(受注高・受注残高/売上収益/事業利益)
- 事業利益増減分析 13
- 新型コロナウイルスの影響と状況 14

II. 2020年度業績見通し

- 業績見通しサマリー 16
- 定常収益 17
- セグメント別内訳 18

III. 補足資料 20-24

I . 2020年度第2四半期決算実績

- 新型コロナウイルスの影響は1Qをボトムとして軽減されつつあるものの、2Q累計の実績は前年同期と比べると低調。
- エナジーやプラント・インフラなどの受注品事業においては、新型コロナウイルスの影響が期首想定よりも大きく、事業環境変化に応じた施策を講じる。
- 一方、中量産品事業（物流・冷熱・ドライブシステム）は市況の緩やかな回復に加えて、固定費削減効果が現れ、2Q累計で黒字化を達成。期首計画を大幅に上回る。
- 原子力及び防衛・宇宙は堅調。
- 現在の事業環境や持分法適用会社株式譲渡の影響等を踏まえて通期見通しを修正（P16～18ご参照）。

第2四半期決算実績 連結経営成績サマリー

(単位：億円)

	2019年度2Q累計 (利益率)		2020年度2Q累計 (利益率)		増減 (増減率)	
受注高		16,982		13,972	△ 3,009	(△17.7%)
売上収益		18,776		16,586	△ 2,190	(△11.7%)
事業利益	(4.0%)	743	(△3.5%)	△ 586	△ 1,330	(△178.9%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(1.6%)	292	(△3.4%)	△ 570	△ 863	(△295.2%)
EBITDA	(7.5%)	1,412	(0.6%)	104	△ 1,308	(△92.6%)
フリーCF		△2,113		△4,971	△2,858	-

第2四半期決算実績 定常収益

(単位：億円)

2020年度2Q累計	定常収益 (利益率)	SpaceJet 投資	合計 (利益率)
受注高	13,972	-	13,972
売上収益	16,586	-	16,586
事業利益	(1.4%) 236	△822	(△3.5%) △586
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(0.7%) 120	△691	(△3.4%) △570
EBITDA	(5.6%) 924	△820	(0.6%) 104
フリーCF	△4,161	△809	△4,971

第2四半期決算実績 連結経営成績 セグメント別内訳

(単位：億円)

	受注高			売上収益			事業利益		
	'19年度 2Q累計	'20年度 2Q累計	対前年度 増減	'19年度 2Q累計	'20年度 2Q累計	対前年度 増減	'19年度 2Q累計	'20年度 2Q累計	対前年度 増減
エネルギー	6,654	5,523	△ 1,130	7,079	6,625	△ 453	372	△ 124	△ 497
プラント・インフラ	3,673	2,534	△ 1,138	3,793	2,870	△ 923	108	△ 67	△ 175
物流・冷熱・ ドライブシステム	4,989	4,022	△ 966	4,970	3,952	△ 1,017	185	45	△ 139
航空・防衛・宇宙	1,923	2,056	+133	3,105	3,359	+253	126	△ 663	△ 789
その他	△ 258	△ 164	+93	△ 171	△ 221	△ 49	△ 49	222	+271
合計	16,982	13,972	△ 3,009	18,776	16,586	△ 2,190	743	△ 586	△ 1,330

当社は今年度からセグメントを一部変更しました。

「エネルギー」は2019年度以前の「パワー」、「プラント・インフラ」及び「物流・冷熱・ドライブシステム」は「インダストリー & 社会基盤」と対応しています。

第2四半期決算実績 連結財政状態

(単位：億円)

	'19年度末	'20年度2Q末	対前年度末 増減
売上債権 (営業債権、契約資産)	11,880	12,371	+491
棚卸資産	7,262	8,157	+895
その他流動資産	9,242	4,661	△4,580
(現金及び現金同等物)	(2,816)	(2,182)	(△634)
固定資産	9,963	9,955	△8
投資等	11,508	11,901	+392
資産合計	49,856	47,047	△2,809
営業債務	8,240	6,977	△1,263
契約負債	8,354	7,541	△813
その他	14,378	10,028	△4,349
有利子負債	5,982	10,375	+4,392
資本	12,900	12,124	△776
(うち親会社の所有者に帰属する持分)	(12,183)	(11,436)	(△746)
負債・資本合計	49,856	47,047	△2,809

借入金・社債 △168
 コマーシャルペーパー +4,560

配当 △251
 当期利益 △570
 その他 +75

主要財務指標

	'19年度末	'20年度 2Q末	対前年度末 増減	'20年度 見通し
自己資本比率	24.4%	24.3%	△ 0.1pt	-
有利子負債残高 (単位：億円)	5,982	10,375	+ 4,392	9,500
D/Eレシオ	0.46	0.86	+ 0.39	0.8

キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	'19年度 2Q累計	'20年度 2Q累計	増減	'20年度 見通し
営業CF	△ 911	△ 3,720	△ 2,809	-
投資CF	△ 1,201	△ 1,250	△ 48	-
フリーCF	△ 2,113	△ 4,971	△ 2,858	△ 4,000

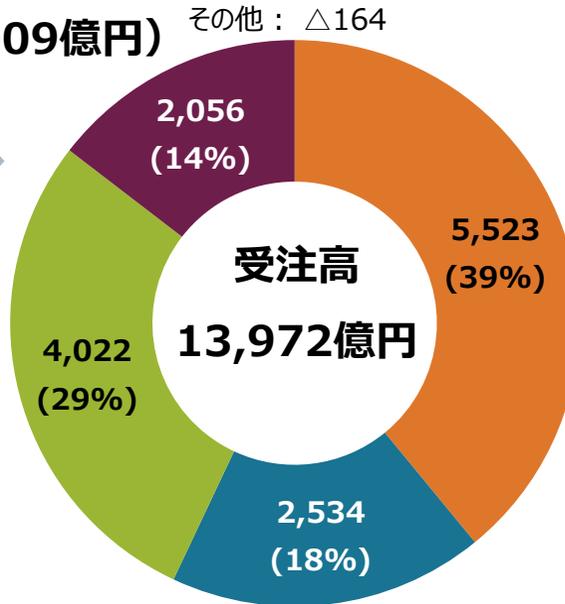
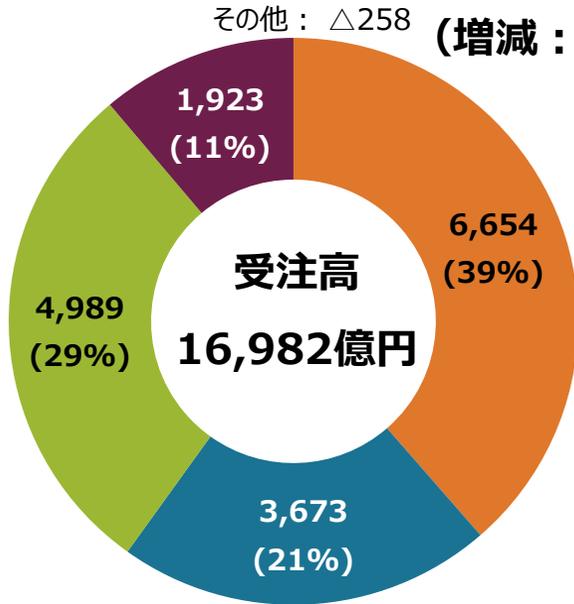
第2四半期決算実績 セグメント別 <受注高・受注残高>

- エナジー
- プラント・インフラ
- 物流・冷熱・ドライブシステム
- 航空・防衛・宇宙
- その他

2019年度2Q累計

受注高

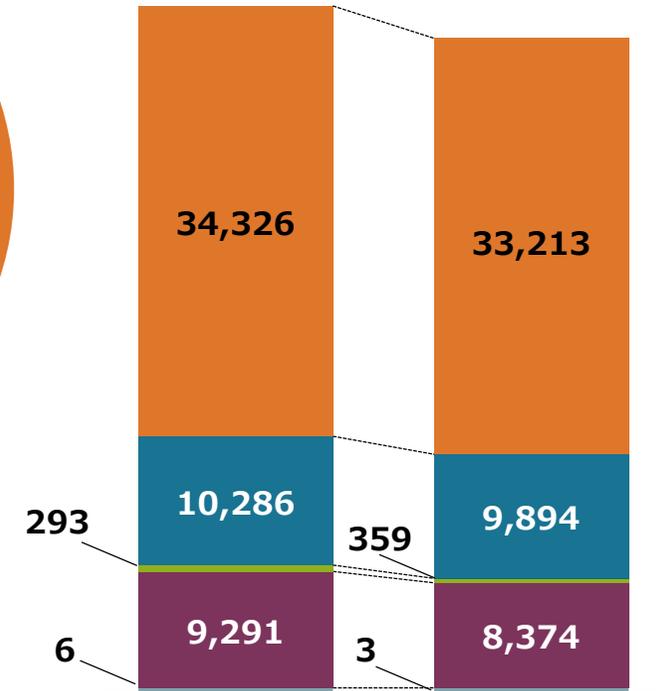
2020年度2Q累計



受注残高^(※2)

(増減：△2,358億円)

'19年度末 54,204億円
'20年度2Q末 51,846億円

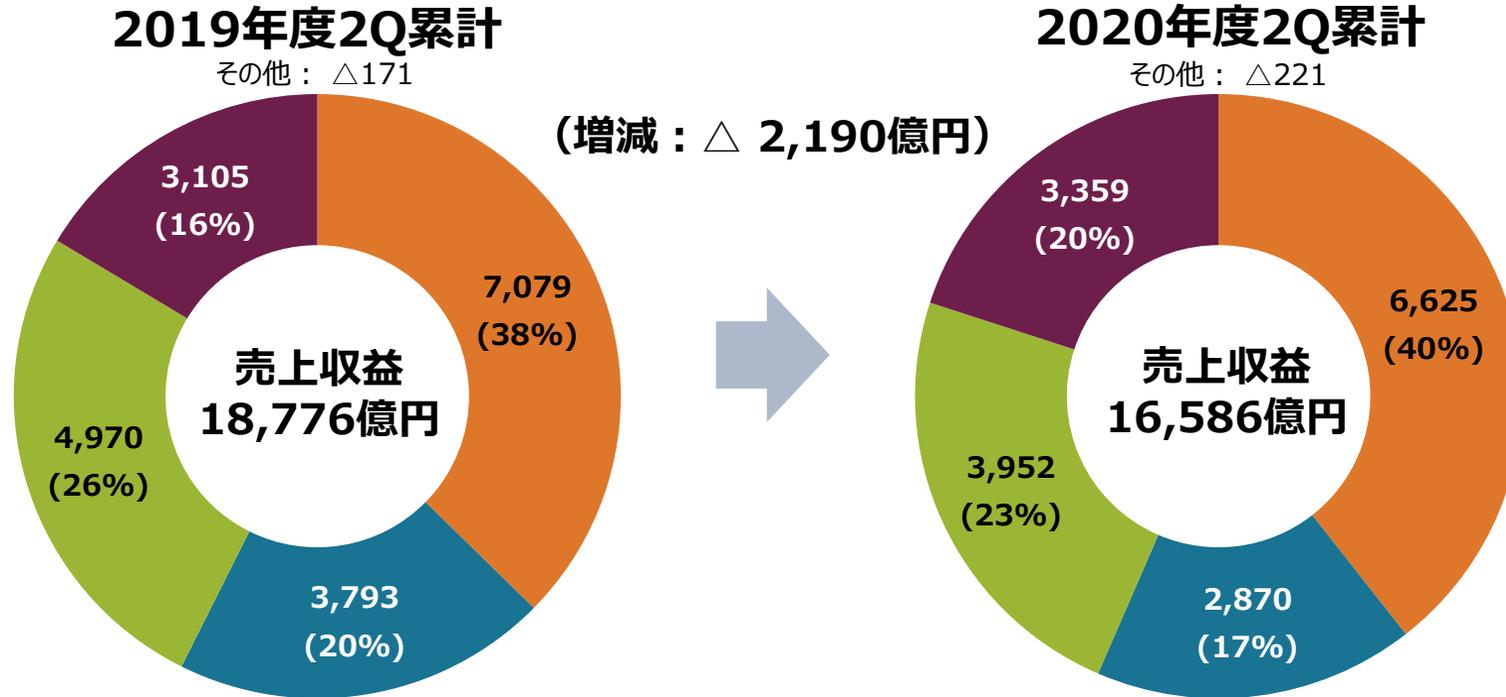


■ エナジー	増加	GTCC ^(※1) 、原子力
	減少	スチームパワー
■ プラント・インフラ	減少	製鉄機械
■ 物流・冷熱・ドライブシステム	減少	ターボチャージャ、物流機器
■ 航空・防衛・宇宙	増加	防衛航空機・飛昇体
	減少	民間航空機

(※1) GTCC : Gas Turbine Combined Cycle
(※2)ターボチャージャ、物流機器等の量産品は含まない

第2四半期決算実績 セグメント別 <売上収益>

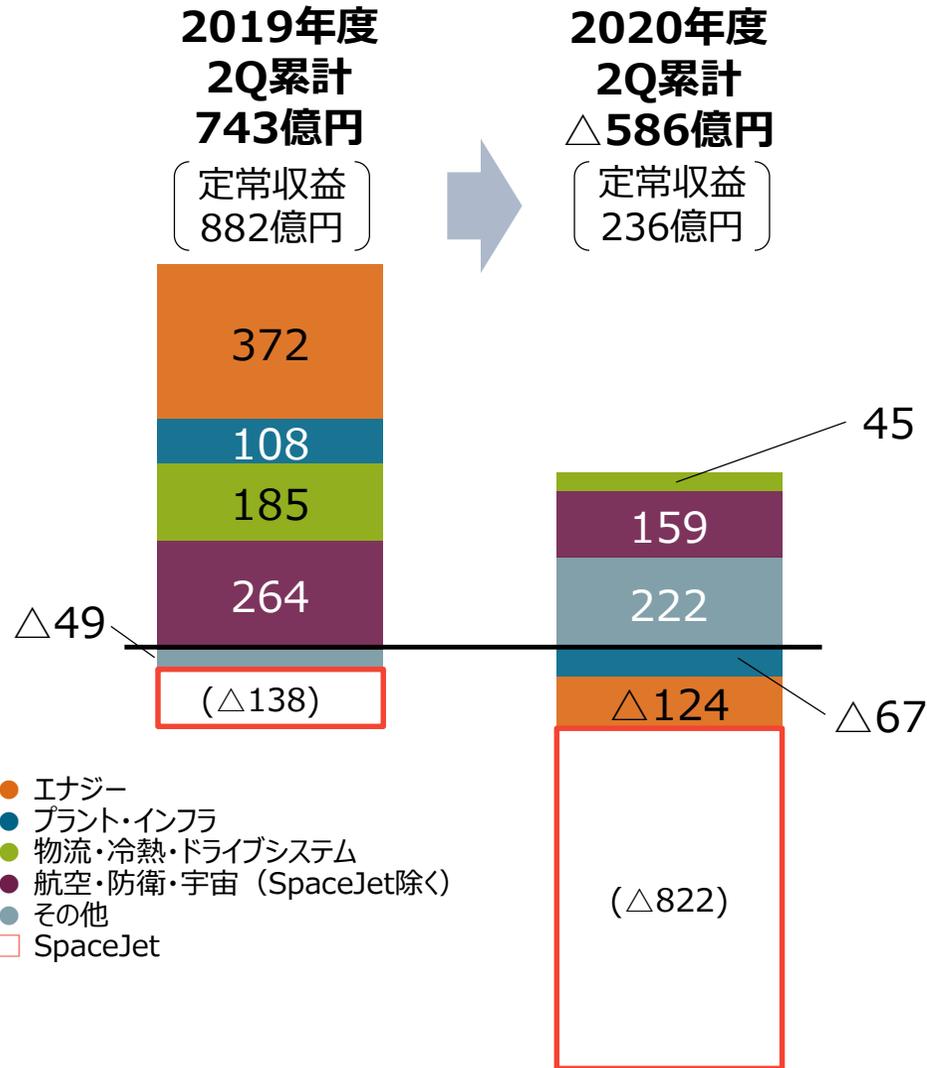
- エナジー
- プラント・インフラ
- 物流・冷熱・ドライブシステム
- 航空・防衛・宇宙



■ エナジー	増収	原子力
	減収	スチームパワー、航空エンジン
■ プラント・インフラ	減収	製鉄機械、エンジニアリング
■ 物流・冷熱・ドライブシステム	減収	ターボチャージャ、物流機器、カーエアコン
■ 航空・防衛・宇宙	増収	防衛航空機・飛昇体
	減収	民間航空機

第2四半期決算実績 セグメント別 <事業利益>

(増減 : $\Delta 1,330$ 億円)



- エナジー
- プラント・インフラ
- 物流・冷熱・ドライブシステム
- 航空・防衛・宇宙 (SpaceJet除く)
- その他
- SpaceJet

■ エナジー

	事業	要因
増益	原子力	売上増加 他
減益	スチームパワー	売上減少、一部工事採算悪化 他
	航空エンジン	売上減少 他

■ プラント・インフラ

減益	エンジニアリング	売上減少 他
----	----------	--------

■ 物流・冷熱・ドライブシステム

減益	ターボチャージャ	売上減少 他
	物流機器	
	カーエアコン	

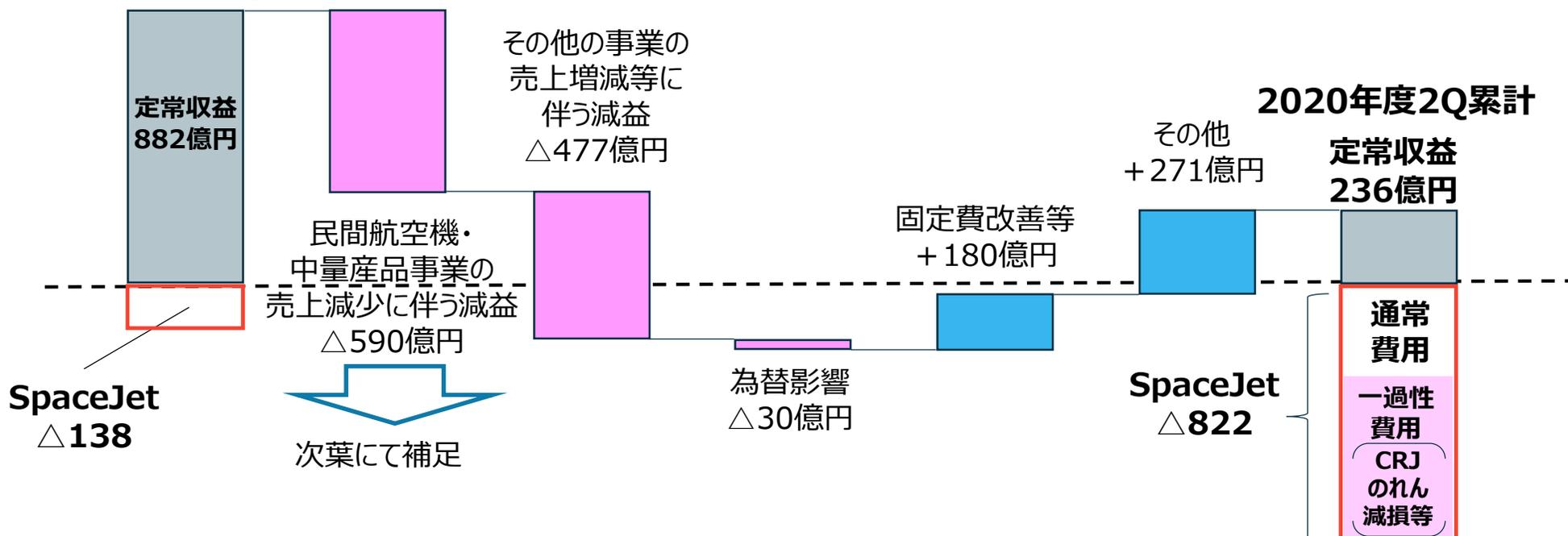
■ 航空・防衛・宇宙

増益	防衛・宇宙	売上増加 他
減益	民間航空機	売上減少 他
	SpaceJet	CRJのれん減損 他

第2四半期決算実績 事業利益増減分析

- 民間航空機事業（構造Tier1、航空エンジン）、中量産品事業における新型コロナウイルスの影響は、1Qをボトムとして軽減されつつある。中量産品事業は、固定費削減等の緊急対策により、2Qで黒字化
- エナジーやプラント・インフラにおける受注品事業は、新型コロナウイルスの影響が期首想定以上に大きく、一部工事の採算悪化等もあり減益
- 固定費削減やアセットマネジメントなどの改善活動は、期首計画を上回るペースで順調に進捗
- SpaceJet関連は、通常の開発費が△300億円(通期見通し△600億円)、CRJ事業買収に伴うのれん減損等の一過性要因が△500億円(通期見通し△600億円)

2019年度2Q累計



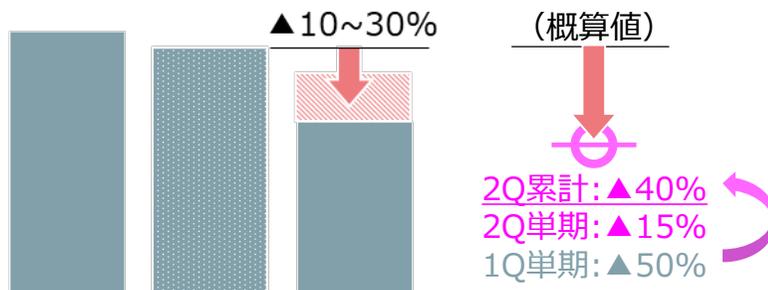
事業

FY20売上見通し (FY20当初計画対比)

売上実績

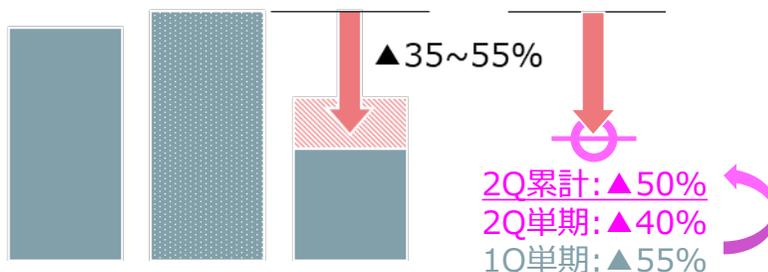
2Q末時点の状況

民間航空機 構造Tier1



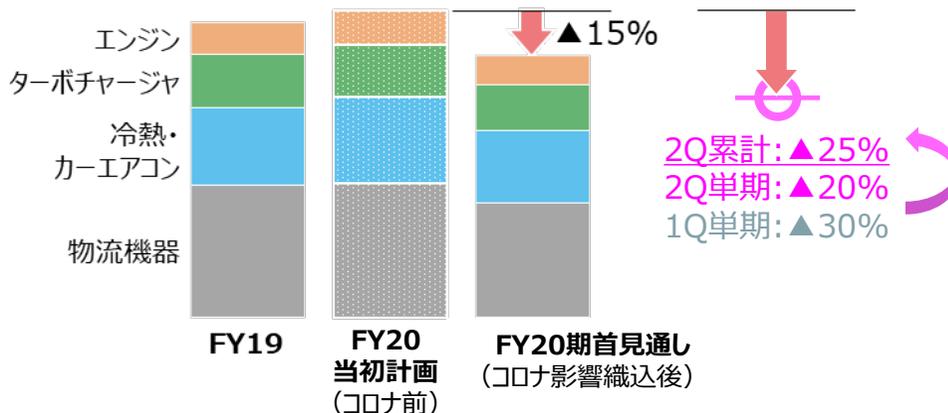
- 生産調整等による減少影響が大きかった1Qに比べ、2Q単期の売上収益は回復基調にあるが、依然として、期首想定をやや下回るレベルで推移。

民間航空機 航空エンジン



- 2Q累計の売上収益は、当初計画から半減。FY20見通しで想定したレンジ(当初計画比△35~55%)のボトムラインで推移。

中量産品



- 2Q累計の売上収益は当初計画に対して△25%減。2Q単期では△20%減であり、各事業とも1Qをボトムとして順調に回復。固定費削減の効果が大きく、2Qで黒字化。

Ⅱ. 2020年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

従いまして、この業績見通しのみにより投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

2020年度業績見通し サマリー

期首公表値 (2020年5月11日) から一部見直し

(単位: 億円)

	2019年度実績		2020年度見通し		対前年度増減	
	(利益率)		(利益率)	今回見通し	期首公表値	(増減率)
受注高	41,686		35,000		△ 6,686 (△16.0%)	
売上収益	40,413		37,000		△ 3,413 (△8.4%)	
事業利益	(△0.7%)	△295	(1.4%)	500	0	+795 -
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(2.2%)	871	(0.5%)	200	0	△ 671 (△77.0%)
R O E	6.6%		2%		-	
EBITDA	(2.8%)	1,151	(5.1%)	1,900	1,400	+749 (+65.1%)
フリーCF	2,129		△4,000		△4,000	
配当(1株あたり)	150円 (中間75円/期末75円)		75円 (中間0円/期末75円)		75円 (中間0円/期末75円)	

【未確定外貨】【前提為替レート】
 15億ドル 1ドル = 110円
 2億ユーロ 1ユーロ = 120円

2020年度業績見通し 定常収益

期首公表値（2020年5月11日）から一部見直し

（単位：億円）

2020年度見通し	定常収益		SpaceJet 投資	合計	
	(利益率)	今回見通し		期首公表値	(利益率)
受注高		35,000	35,000	-	35,000
売上収益		37,000	38,000	-	37,000
事業利益	(4.6%)	1,700	1,200	△1,200	(1.3%) 500
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(3.0%)	1,100	900	△900	(0.5%) 200
ROE		10%	-	-	2%
EBITDA	(8.4%)	3,100	2,600	△1,200	(5.1%) 1,900
フリーCF		△2,800	△2,800	△1,200	△4,000

2020年度業績見通し セグメント別内訳

期首公表値（2020年5月11日）から一部見直し

（単位：億円）

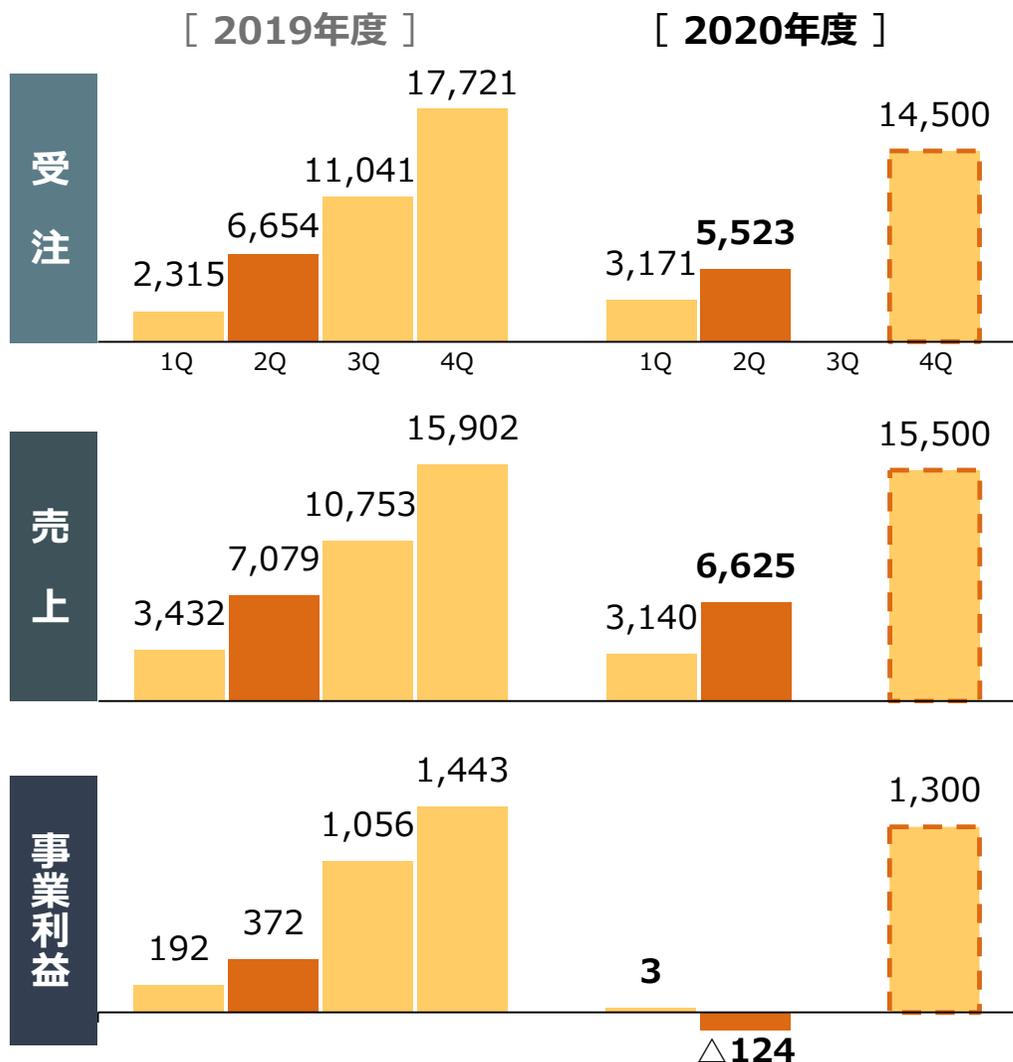
	受注高				売上収益				事業利益			
	'19年度 実績	'20年度見通し		対前年度 増減	'19年度 実績	'20年度見通し		対前年度 増減	'19年度 実績	'20年度見通し		対前年度 増減
		今回 見通し	期首 公表値			今回 見通し	期首 公表値			今回 見通し	期首 公表値	
エナジー	17,721	14,500	14,500	△ 3,221	15,902	15,500	15,500	△ 402	1,443	1,300	1,000	△ 143
プラント・インフラ	7,399	6,500	6,500	△ 899	7,929	6,500	7,500	△ 1,429	255	50	300	△ 205
物流・冷熱・ ドライブシステム	9,859	8,500	8,500	△ 1,359	9,901	8,500	8,500	△ 1,401	293	100	△ 300	△ 193
航空・防衛・宇宙	7,192	6,000	6,000	△ 1,192	7,049	7,000	7,000	△ 49	△ 2,087	△ 950	△ 900	+1,137
その他	△ 485	△ 500	△ 500	△ 14	△ 369	△ 500	△ 500	△ 130	△ 200	0	△ 100	+200
合計	41,686	35,000	35,000	△ 6,686	40,413	37,000	38,000	△ 3,413	△ 295	500	0	+795

当社は今年度からセグメントを一部変更しました。

「エナジー」は2019年度以前の「パワー」、「プラント・インフラ」及び「物流・冷熱・ドライブシステム」は「インダストリー & 社会基盤」と対応しています。

Ⅲ. 補足資料

(億円・各期の数値は累計)



- 航空エンジンの2Qの売上収益は、前年同期比約半減であるが、概ねFY20見通しの範囲内で推移
- 新型コロナウイルスの影響で当初上期に予定していた火力事業のアフターサービス工事が一部下期に後ろ倒しになったことや、一部プロジェクトにおける損益悪化などにより、前年同期比減収・減益
- Vestas社との合併会社の株式譲渡に伴う増益を見込み、事業利益の通期見通しを1,300億円 (+300億円) に上方修正

【ガスタービン受注台数・契約残台数】

2020年度2Q累計：5台

	米州	アジア	EMEA	その他	合計	契約残台数
大型	-	2	3	-	5	45
中小型	-	-	-	-	0	13
合計	0	2	3	0	5	58

2019年度累計：32台

	米州	アジア	EMEA	その他	合計	契約残台数
大型	7	10	2	2	21	49
中小型	3	2	6	-	11	15
合計	10	12	8	2	32	64

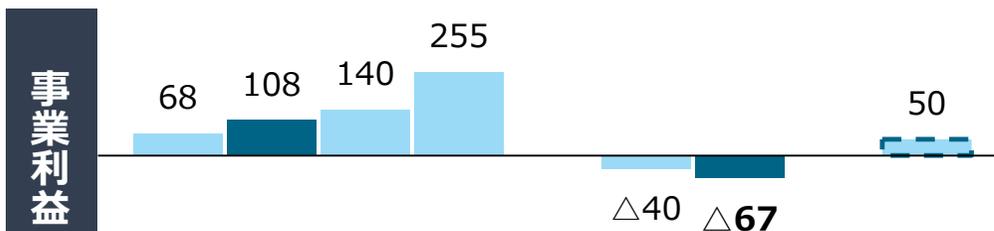
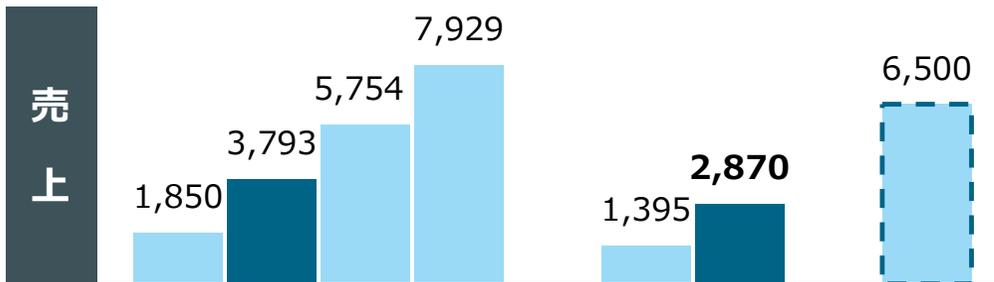
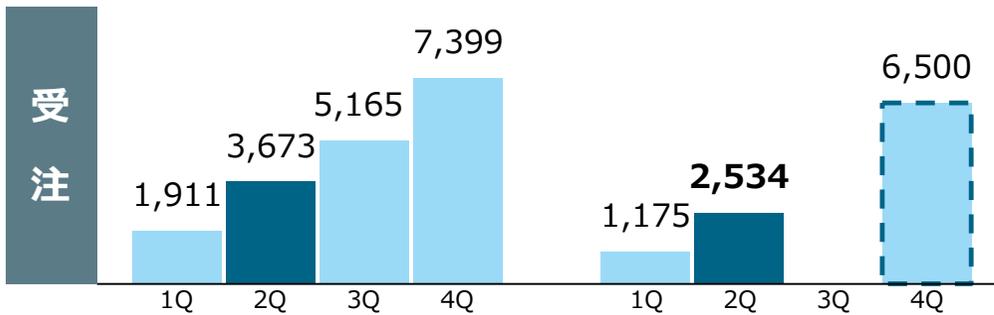
2019年度2Q累計：9台

	米州	アジア	EMEA	その他	合計	契約残台数
大型	3	1	2	-	6	37
中小型	3	-	-	-	3	11
合計	6	1	2	0	9	48

(億円・各期の数値は累計)

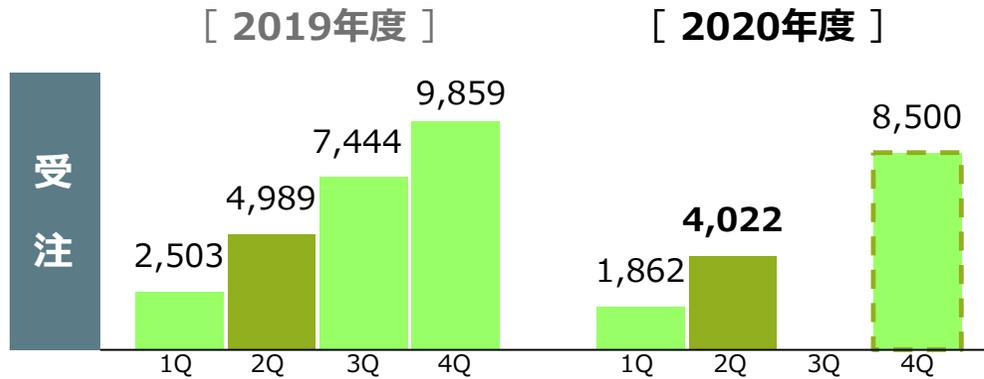
[2019年度]

[2020年度]

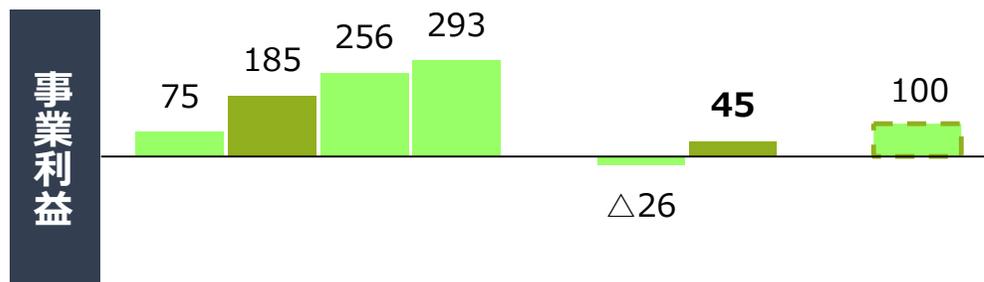
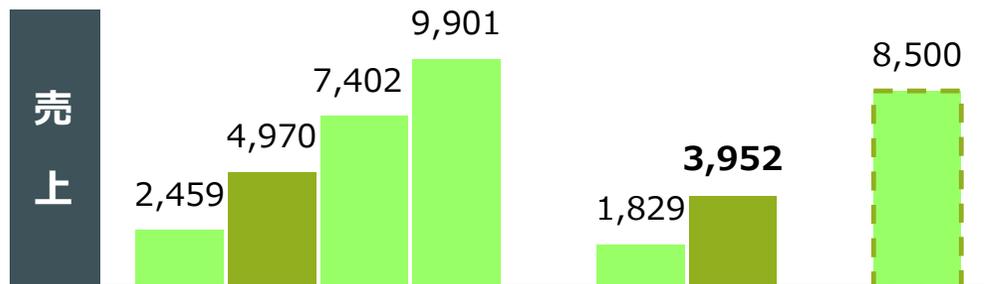


- 期首時点では、新型コロナウイルス影響は軽微と想定していたが、商談の停滞に伴い受注は前年同期比減少。また、エンジニアリングや製鉄機械において、工事の進捗遅れが発生したこと等により前年同期比減収
- 加えて、引渡し済みの海外エンジニアリング案件の費用精算等による一過性費用も発生し、事業利益の通期見通しを50億円(△250億円)に下方修正

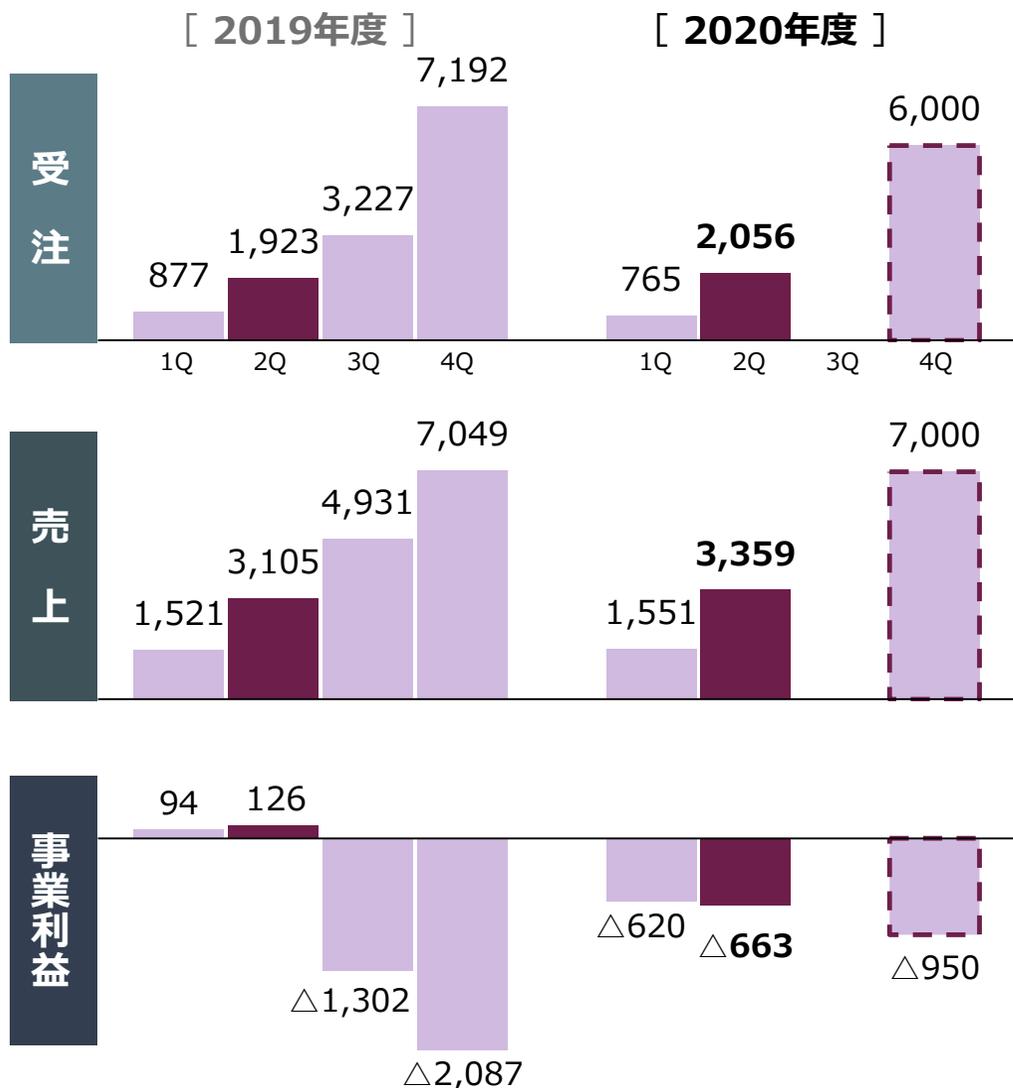
(億円・各期の数値は累計)



- 新型コロナウイルスの影響により、1Qの売上収益は前年同期比△25%であったが、2Q単期では△15%に縮小し、回復基調
- 固定費圧縮効果等により、2Qで既に黒字化を達成しており、事業利益の通期見通しを100億円(+400億円)に上方修正



(億円・各期の数値は累計)



- 民間航空機構造Tier1の売上収益は、1Qをボトムとして改善基調にあるものの、期首想定よりやや低いレベルで推移。引き続き操業調整や固定費削減を推進
- 一方、航空・防衛・宇宙全体としては、堅調な防衛・宇宙及び1Qに買収が完了したCRJが寄与し、前年同期比増収
- SpaceJet事業の損失（CRJ事業買収に伴って生じたのれんの減損を含む）は822億円で期首想定通り

【B777/B777X 引渡機数】

	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2019年度	16	14	13	11	54
2020年度	6	13	-	-	-

【B787 引渡機数】

	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2019年度	43	42	38	43	166
2020年度	18	32	-	-	-

1. 研究開発費、減価償却費、設備投資

	'19年度 2Q累計	'20年度 2Q累計	(単位：億円) '20年度 見通し
研究開発費	555	595	1,400
減価償却費	668	690	1,400
設備投資	697	578	1,500

2. 販売費及び一般管理費

	'19年度 2Q累計	'20年度 2Q累計
販管費	2,711	2,575

(単位：億円)

3. 為替レート (売上計上平均レート)

	'19年度 2Q累計	'20年度 2Q累計
USDollar (円/USDollar)	109.3	107.1
ユーロ (円/ユーロ)	122.1	121.1

4. 海外地域別売上収益

	'19年度2Q累計	'20年度2Q累計
アジア	3,453 (18%)	2,651 (16%)
北米	3,537 (19%)	2,836 (17%)
欧州	1,750 (9%)	1,421 (9%)
中南米	685 (4%)	309 (2%)
中東	457 (2%)	186 (1%)
オセアニア	90 (1%)	91 (1%)
アフリカ	343 (2%)	233 (1%)
合計	10,318 (55%)	7,730 (47%)

(単位：億円)

MOVE THE WORLD FORWARD

**MITSUBISHI
HEAVY
INDUSTRIES
GROUP**